



大和田順子さんからの  
ロハスレター

### 東北グランマのXmas オーナメント

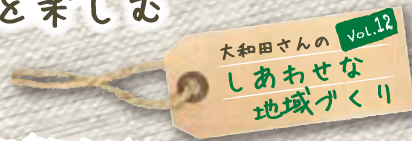
被災された東北の漁業に携わる女性の皆さんに仕事を!ということで始まったプロジェクトです。「東北グランマのXmas オーナメント」は、宮城県石巻市北上町十三浜大指(おおざし)、岩手県久慈市および陸前高田市で被災したお母さんたちが、オーガニックコットンの残布を使って一つ一つ手作りしたものです。仮設住宅での暮らしは孤独になりがちですが、毎日皆で集まって手を使い、会話を楽しみ、一生懸命に作っています。こうしたオーナメントが飾られたクリスマスツリー。心が温まりますね。



※以下のWEBサイトから購入もできます。  
<http://grandmaproject.jp/project/>

大和田順子(おおわだ・じゅんこ)  
地域再生コンサルタント/一般社団法人ロハス・ビジネス・アライアンス(LBA) 共同代表  
講演、執筆や大学の授業を通じ、ロハスの考え方をライフスタイルにとどまらず、ビジネスや地域活性化に活かしている。成城学園駅前にある菜園で無農薬の野菜づくりを楽しんでいる。近著「アグリ・コミュニティビジネス-農山村×交流力でつむぐ幸せな社会-」(学芸出版社)

## まちなみ・むらなみを楽しむ (岐阜県飛騨市)



白壁土蔵街を流れる瀬戸川



町屋の家々の玄関先に季節の花

秋の行楽シーズン到来。私も岐阜県飛騨市で開かれた「全国町並みゼミ」に参加し、各地で地域づくりをされている皆様と地元のみ美酒・美味を楽しみながら交流してきました。今年34回を迎えた同ゼミは、全国各地で町並みの保存に取り組む人たちが一堂に会するもので、500人近い参加者がありました。飛騨市は岐阜県北部に位置する人口27000人余りの町です。古川は江戸時代に増島城の城下町としてつくられ、今でも商人町が残っています。奈良・平安時代から大工として都に仕事に行った歴史から、飛騨の匠の技として代々受け継がれてきました。40年ほど前から町並み保存や市内を

は木造の倉庫で、米や味噌、種を保管する場所。高齢化により棚田の多くが畑に変わっています。が、ミョウガとエゴマの産地になっています。ミョウガの花を見たことはありませんでしたが、群生しているところを見るのは初めてでした。実が大きく、多くが京都の漬物になっているそうです。



大切にされている農村風景

流れる瀬戸川の浄化運動に取り組み、今でも、匠の技が息づく昔ながらの町屋や寺社が、豊かで落ち着いた町並みをつくっています。そして、古川から車で30分の宮川町には種蔵という小さな農村集落があります。ここには石積み、の棚田と地区内に点在する板倉が美しい農村景観をつくりだしています。板倉というの

### 棚田と板倉の里

「板倉の宿 種蔵」が秀逸です。平成21年に体験宿泊施設としてオープンしたものです。古民家を移築し、囲炉裏や漆喰の落ち着いた部屋、そして檜のお風呂が!食事は地域の食材を使った郷土料理をいただくことができます。



朝食の魚は鮎の一夜干し

今回のゼミでは、飛騨市古川の大工さんの匠の技と、住民の高い美意識に支えられた「まちなみ」。そして種蔵の豊かな「むらなみ」に感心しました。また、これら町と村の住民が交流することで相互の価値を再発見し、双方の景観が残っていくのではないのでしょうか。いずれにしても大阪や東京など都市部の景観に比べてなんと質が高く美しいことか、と改めて実感した3日間でした。